

報道関係各位

2026年8月28日

3D都市モデルで新たなサービス創出や地域課題解決に挑む 国土交通省「PLATEAU AWARD 2026」本エントリー受付開始

一般部門はアプリ・サービス・アイデアを幅広く募集
自治体共創部門は自治体×民間事業者の共同チームによるアイデアを募集

株式会社角川アスキー総合研究所（本社：東京都文京区、代表取締役社長：垣貫真和）は、国土交通省「Project PLATEAU（プロジェクトプラトー）」主催の3D都市モデルを活用した開発コンテスト「PLATEAU AWARD 2026」において、2026年8月28日（金）より「一般部門」「自治体共創部門」の本エントリー受付を開始します。

「一般部門」では、3D都市モデルを活用したアプリケーションやWebサービス、ビジネス、アイデアなどを幅広く募集します。また、今回新設した「自治体共創部門」では、地方公共団体と民間企業・開発者などがチームを組み、地域課題の解決や行政業務の効率化に向けた提案を募集します。自治体共創部門は、プロダクトの完成を前提とせず、現状分析や課題定義など開発前の段階から応募できます。

エンジニアやクリエイター、企業、学生・研究者、自治体関係者など、3D都市モデルを活用した新たな価値の創出や社会実装に挑戦する皆さまからの応募をお待ちしています。



■本エントリーについて

一般部門：3D都市モデルから生まれる新しいサービス・体験・アイデアを募集

PLATEAUがオープンデータとして提供する3D都市モデルを活用した、新たなアプリケーション、コンテンツ、エクスペリエンスを募集します。

対象となるのは、事業化や社会実装を目指すビジネス・プロダクト、アプリやWebサービス、自由なアイデア、地域課題解決・都市計画などのソリューションです。

個人のほか、企業、教育機関・研究機関、行政機関、その他団体などによるチームが応募でき、メンバー数や年齢の制限はありません。同一人物・チームによる複数アイデアの応募も可能です。

審査では、「3D都市モデルの活用」「アイデア」「UI・UX・デザイン」「技術力」「実用性」の5項目を軸に総合的に評価します。

応募期間：8月28日（金）～11月19日（木）

提出物：作品概要、プレゼンテーション用PDF、作品の動作などが分かる3分以内の動画

▼一般部門 応募フォーム：<https://form.run/@plateauaward2026-apply>

自治体共創部門：自治体のリアルな課題を、民間事業者などとの共創で解決

地方公共団体が抱える具体的な地域課題の解決や、行政業務の効率化に向けたアイデアを募集します。

まちづくり・環境、防災・安全安心、地域活性化・観光、スマートシティ・業務効率化など幅広いテーマが対象で、現状分析や課題定義など、開発前の段階から応募できることが特徴です。

応募には、地方公共団体の職員と、課題解決や社会実装を担う民間企業、開発者、その他団体などの伴走パートナー事業者による共同チームを構成する必要があります。応募時点で伴走パートナー事業者が決定していることが条件です。

審査では、「3D都市モデルの活用」「アイデア」「実用性」を中心に、行政現場の課題に対する解像度や実現性を評価します。採択された優れた作品・プロジェクトには、コンテスト終了後も社会実装に向けた伴走支援などを予定しています。

応募期間：8月28日（金）～11月19日（木）

提出物：解決すべき課題と背景、企画概要、共創チームの体制などをまとめた「課題定義書」

▼自治体共創部門 応募フォーム：<https://form.run/@plateauaward2026-apply-gov>

■応募・審査スケジュール

8月28日（金）本エントリー受付開始

11月6日（金）プレエントリー登録締め切り

11月19日（木）本エントリー応募締め切り

12月5日（土）～6日（日）審査

2027年2月27日（土）最終審査会・授賞式等

一般部門では2027年1月中にファイナリストを発表し、2月27日に最終審査会・授賞式を開催します。自治体共創部門では、11月24日（火）～12月2日（水）に全国の自治体関係者による投票も予定しています。

■応募に向けた無料サポートも受付中

本エントリーへの応募に関心はあるものの、3D都市モデルの活用や技術面に不安がある方を対象にした「プレエントリー」も11月6日（金）まで受け付けています。

登録者には、3D都市モデルを活用した開発サポート、PLATEAU関連イベント、本エントリーに関する情報などを提供します。

▼プレエントリー登録フォーム：<https://form.run/@plateauaward2026pre>

※プレエントリーはAWARDの選考対象ではありません。本アワードの選考には本エントリーが必要です。

※プレエントリーによるサポート期間はご登録日から11月26日（木）までとなります。

■角川アスキー総合研究所の役割

当社は運営する『ASCII STARTUP』を通じ、2020年度のProject PLATEAU開始当初から、3D都市モデルの活用促進に向けた情報発信やコミュニティ形成支援に携わっています。「PLATEAU AWARD 2026」においても、これまで培った知見やネットワークを生かし、運営事務局として本アワードの実施を支援します。

▼PLATEAU AWARD 2026 事務局 E-mail：plateau-award@lab-kadokawa.com

▼WEBメディア『ASCII STARTUP』URL：<https://ascii.jp/startup/>

「PLATEAU AWARD 2026」公式サイト

エントリー方法の詳細や昨年度の受賞作品など、アワードの詳細はこちらをご覧ください

<https://www.mlit.go.jp/plateau-next/award/>

■「PLATEAU AWARD」について

国土交通省が推進する「Project PLATEAU」の一環として、まだ見ぬアプリケーション、サービス、コンテンツ、あるべき未来の都市や暮らしにつながる取り組み、それらを支える先進的なソフトウェア、映像表現など、3D都市モデルの可能性を引き出すことを目指した開発コンテストです。

「一般部門」では、3D都市モデルを活用したアプリケーションやWebサービス、ビジネス、アイデアなどを幅広く募集します。

また、今回新設した「自治体共創部門」では、地方公共団体と民間企業・開発者などがチームを組み、地域課題の解決や行政業務の効率化に向けた提案を募集します。自治体共創部門は、プロダクトの完成を前提とせず、現状分析や課題定義など開発前の段階から応募できます。

エンジニアやクリエイター、企業、学生・研究者、自治体関係者など、3D都市モデルを活用した新たな価値の創出や社会実装に挑戦する皆さまからの応募をお待ちしています。

▼応募に関するお問い合わせフォーム：<https://form.run/@plateauaward2026QA>

■Project PLATEAUについて

「Project PLATEAU」は、国土交通省がさまざまなプレイヤーと連携して推進する、日本全国の都市デジタルツイン実現プロジェクトです。都市活動のプラットフォームデータとして3D都市モデルを整備し、さまざまな領域でユースケースを開発しています。さらに、誰もが自由に都市のデータを引き出せるよう、3D都市モデルの整備・活用・オープンデータ化を通じて、まちづくりのDXとオープンイノベーションの創出を推進しています。

▼公式サイト：<https://www.mlit.go.jp/plateau/>

■株式会社角川アスキー総合研究所について

角川アスキー総合研究所は、メディア運営やコンテンツ制作で培った知見を生かし、調査、コンサルティング、マーケティング、ビジネスソリューション、出版、教育支援など幅広く事業を展開しています。コンテンツ力、メディア力、リサーチ力を総合的に活用し、企業・自治体・官公庁などのお客様が抱える課題解決に取り組んでいます。

事業内容：

メディア運営、調査・コンサルティング、各種マーケティング、ソリューション事業、出版、教育支援事業ほか

▼公式サイト：<https://www.lab-kadokawa.com/>

【本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先】

株式会社角川アスキー総合研究所 広報担当 堀

press-cp@lab-kadokawa.com